

教師に最も求められる仕事とは何か

1. 教育を考える一言

教師の務めとはただ一つ 学ぶって実はオモシロイ！ 知る喜びを伝える

2. 背景

この一言はたまたま見かけた雑誌に掲載されていたある漫画の中の一節です。この漫画では高校教師が生徒達に、「謝る」という行為を通して自発的な成長を促すものとなっています。この発言は詰め込み教育に疑問を持ち始めた進学校のある生徒が授業をボイコットするようになり、いっそ退学しようかと考え始めた時に担任教師から呼び出され上記の言葉と共に謝られる、という背景がありました。

3. 考察

現代の教師は生徒の親や地域、行政から多くの事を期待され、しなければならぬ事が肥大化しています。学業成績を伸ばす事はもちろん生活態度や素行、生き方までも教師は生徒に規範を示し教えるべきではありません。このような環境の中で「教師が最も子ども達に教えるべきではない事とは一体何か」が見えにくくなってきている様に感じます。この「教師が最も子ども達に教えるべきではない事」というものがこの一言にあらわされている様に私は感じました。学業成績を伸ばしたいだけならば塾や予備校でも代替できますし、生活態度や素行などは地域のスポーツ少年団に加入し団体行動をしていく事で身に付くでしょう。「学ぶ校舎」である学校という場で、またそこで働く教師として最も大切な事はこの「学ぶ事って実は面白い事なんだ」という事なのではないかと私は考え、この一言を選びました。

文献情報

板垣恵介『謝男』日本文芸社、2013年



図：『謝男』第13話の該当シーン

〔出典〕「オレポニカ」ウェブサイト

URL: <http://oreponica.jugem.jp/?eid=369>

(最終アクセス：2013年6月13日)